



なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 5

平成 24 年 5 月 30 日



「決戦 六ツ美が原」は、「一瞬の勝負」のいさぎよさを、「竹取物語」は、全校女子の協力する姿に美しさを感じました。
こんなすてきな体育祭ができたのは、中部小のみんなの力です。



子ども親も 立派な行進



今年、晴天に恵まれてすべての競技を行うことができ、心地良さを肌で感じることもできました。
体育委員会設立40周年記念の体育祭をとても立派にできたのも、地区の皆様方のご協力があったからこそです。
1・2年生の「イナズマ 六中 93」
3・4年生の「岡崎の心 ゆめ・おどる」
ともに、リズムに合わせて真剣に踊り、さわやかな感動と可愛らしい表現力に富んだ演技を見ることができました。

「東京スカイツリー」と「中部スカイツリー」
5月22日に開業した「東京スカイツリー」は、634mのタワーに2つの展望台、東京スカイツリー展望デッキ(350m展望台)と東京スカイツリー展望回廊を備えた自立式電波塔です。地上デジタル放送が開始されるのに伴って、新たな電波塔としての機能と周辺地域の活性化を促進する役割を担うのみでなく、21世紀の東京の都市としての発展を目指したものです。
体育祭では、5・6年生がEXILEのライジン・サンの曲に合わせて、踊りと組み立て体操を見事に演じてくれました。「どんな長い道だとしてもいつかどおりつけるはず 確実に歩いてく この足で」という歌詞にあるように、体育祭で完成させた7段の中部小の「願いの塔」は、まさに、未来への躍進と地域の発展を願った美しく力強いスカイツリーです。土台になった子ども頂上に立った子ども、皆が力を合わせて作り上げた立派な願いが込められたものです。一人一人の中部小の子が、自立して、自分の夢に向かって羽ばたいてくれることを私たちも願って、日々の教育に取り組みます。

